

# LEDドライバ②

## 外部接続により光量を設定可能！ UVLO付きLEDドライバ

開発中  
ESリリース中

### RT8H084C・094C

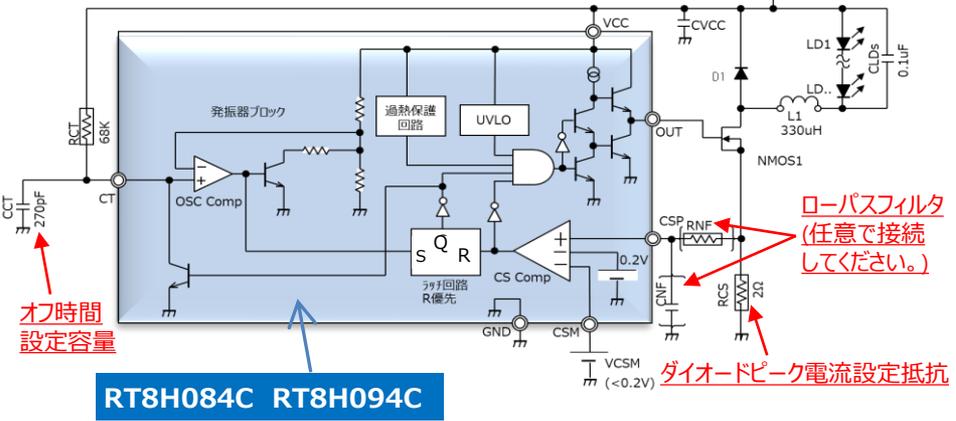
#### □概要

本製品はLEDの駆動に適しており、LEDの光量を設定することが可能です。  
 GND側に接続された抵抗RCSによる電圧上昇分をCSP端子により検出し、  
 内蔵電源0.2Vと比較することでLEDに流れる電流を調整できます。  
 (0.2V以下で比較したい場合は、CSM端子に0.2V以下の電圧を印加する事で  
 設定可能です。)  
 また、CT端子に外部接続する抵抗と容量で、オフ時間の設定が可能となります。  
 UVLO回路内蔵により、RT8H084Cは6.5V以下、RT8H094Cは4V以下での  
 誤動作を防ぎます。  
 電源電圧の大きさに合わせてLEDの光量を調整する例として、電源電圧が  
 8V以下で光量を抑えたい場合、VCC8VでCSM端子が0.2Vになる様、電源から  
 抵抗分圧で印加することによりVCC電圧が8V以下になると光量が抑えられます。

#### □用途

- LED駆動回路

#### □内部等価回路・応用回路図

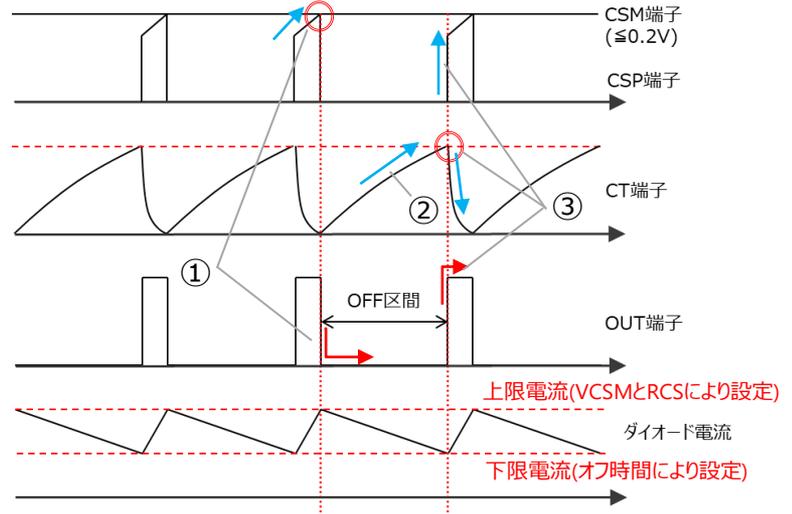


#### □特長

- UVLO機能
  - RT8H084C.....VCC=約6.5V以下で検出
  - RT8H094C.....VCC=約4V以下で検出
- 過熱保護機能
- CT端子に容量・抵抗を外部接続でオフ時間の設定が可能
- パッケージ(SC-74)

#### □タイミングチャート

(左記応用回路図に基づくタイミングチャートとなります)



- ①CSP電圧がCSM電圧(≦0.2V)を超えた時、OUT電圧がLOWになります。
- ②OUT電圧がLOWになると共にCT端子の電圧が上昇します。
- ③CT端子電圧が閾値を超えた時、OUT電圧がHIGHになり、CT電圧が下降してCSP電圧が上昇します。(以降①→②→③の繰り返し)